
龍箱

IKUBi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

龍箱

【コード】

NO104Y

【作者名】

IKUBi

【あらすじ】

主人公、黒松優護（17）はある日世界の守護者、龍嵐隊 に出会う。

彼らの使命はこの世界のエネルギー、竜力とも呼ばれる力で闇の敵と戦い世界の秩序を護ること。

元々、竜力に恩恵を授かっていた優護は龍嵐隊と共に強大な敵に立ち向かう。

現代ファンタジー。いろんな漫画の自分なりのいいところ取りで書いていきます。

プロローグ（前書き）

文章書くのって難しいです。

プロローグ

《龍箱》それは、この星の守護力。

かつてこの世界が生み出した絶対的防御壁。

これまで幾多の星の危機をあらゆる形で救ってきた。

その昔、世界に終わりを告げる警鐘が鳴らされたとき、龍箱は開かれ守護者となる者達に《竜力》を跳ばし守護者達は各々に力を振りいその危機を乗り越えた。

力を宿し戦う者達はやがて現れる強大な闇の相手を力を合わせ相手取るため、護隊・龍嵐隊を作り上げ、さらなる闘いへと備え力を磨いていった。

力を授かった者のなかでも至極の力を宿された者達は《龍王》と呼ばれ他の者を率い世界を護る。

本来竜力は大気中に漂っているが、龍箱が開かれて以降その力の密度が上昇し、力を無意識に捕らえ己の力として発揮する《竜眼人》と呼ばれる者も現れ始めた。

彼らは戦うためだけではなく、身体力 精神力 時には運をも引き

寄せ

政界、音楽界、スポーツ界に至るまで様々な分野でその力を振るい、その時代を率い、盛り上げ導いてきた。

龍箱が開かれた時、闇の力も同じく力を解放し幾多の争いを生み出していく。

互いの力は日々磨かれていきいずれ世界を巻き込む大きな争いは避けては通れなくなっていくた。

その戦いの時はゆっくり、だが確実に近づいていった。

プロローグ（後書き）

何かお気づきの点御座いましたら御指摘下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0104y/>

龍箱

2011年10月29日03時13分発行